

KIMONOの影響力

— ジャポニズムを背景として —

「KIMONO」という語の広範な流通が示すように、日本で生まれた着物は今や世界性を獲得しています。それを推進した最も重要なベクトルはジャポニズムであり、ジャポニズムほど異文化交流の一例として興味深いテーマは他に類を見ないといえるでしょう。

すでにジャポニズムについては多くの研究があります。「モードのジャポニズム」展（京都服飾文化研究財団）は、パリ・モードとジャポニズム関連性の概要を明らかにしました。

この研究をより深化させるべく、2009年より、文化学園文化ファッション研究機構の服飾文化共同研究課題として、深井晃子を中心に、長崎巖、稲賀繁美、周防珠実、石関亮が、欧米の主要美術館に現存するジャポニズム流行時に形成された日本染織品に焦点を絞り込んで、「ジャポニズムを背景とした着物の欧米における影響についての研究」を進めてきました。

本シンポジウム「KIMONOの影響力: ジャポニズムを背景として」は、フランス、イギリス、イタリアにおける現地調査を総括します。

さらに、現地調査を果たせなかったスペインよりリカル・ブル氏を招聘し、1888年のバルセロナ万博におけるジャポニズムの影響について考察し、本研究を補完します。

【パネリスト】

長崎巖	(共立女子大学教授)
稲賀繁美	(国際日本文化研究センター教授)
リカル・ブル	(バルセロナ大学教授)
深井晃子	(京都服飾文化研究財団チーフ・キュレーター)
周防珠実	(京都服飾文化研究財団キュレーター)
石関亮	(京都服飾文化研究財団キュレーター)

日時

2011年 11月26日(土)

13:30 ~ 17:00 (13:00開場)

会場

学校法人 文化学園 B館 20階 B201ホール

入場無料 (定員 100名 事前申込制) ※お申込み方法は裏面をご覧ください。

シンポジウム「KIMONO の影響力: ジャポニズムを背景として」

プログラム

《第Ⅰ部》

- 13:30 開催趣旨挨拶 深井晃子 (京都服飾文化研究財団チーフ・キュレーター)
- 13:45 基調講演 稲賀繁美 (国際日本文化研究センター教授)
「ジャポニズムの拡大: 純粹芸術から裝飾芸術へ (仮題)」
- 14:15 調査報告
「海外における着物の所蔵状況について」 長崎巖 (共立女子大学教授)
「イギリスの美術館所蔵品の調査報告」 周防珠実 (京都服飾文化研究財団キュレーター)
「フランス、イタリアの美術館所蔵品の調査報告」 石関亮 (京都服飾文化研究財団キュレーター)

— 休憩 —

《第Ⅱ部》

- 15:10 特別講演 リカル・ブル (バルセロナ大学教授) ※使用言語: 英語(日本語レジュメ配布)
「カタルーニャ(スペイン)のテキスタイルにおけるジャポニズム」
- 15:50 パネル・ディスカッション (共同研究メンバー及びリカル・ブル氏)
- 17:00 終了予定

テキスタイル「昼顔と稲の束」 1889年頃 京都服飾文化研究財団所蔵 Richard Houghton 撮影

日時: 2011年11月26日(土) 13:30-17:00 (13:00開場)

場所: 学校法人文化学園 B館 20階 B201ホール (東京都渋谷区代々木3-22-1)

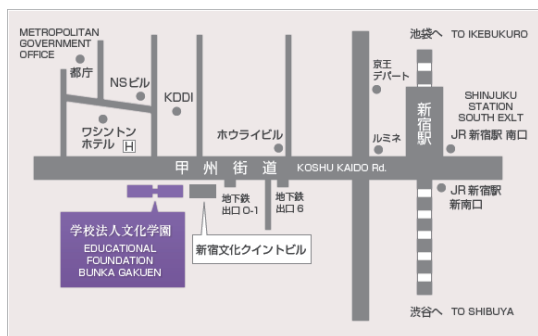
主催: 公益財団法人 京都服飾文化研究財団、文化学園大学 文化ファッション研究機構

企画: 服飾文化共同研究拠点「ジャポニズムを背景とした着物の欧米における影響についての研究」

定員: 100名 (事前申込制)

参加料: 無料

交通機関: 新宿駅下車 (JR線、小田急線、京王線、都営新宿線、都営大江戸線、丸ノ内線、西武新宿線)、
JR新宿駅南口より、甲州街道に沿って初台方面へ徒歩8分



参加お申込み・お問い合わせ

ご氏名、ご連絡先の電話番号とともに、お電話にてお申し込みください。

公益財団法人 京都服飾文化研究財団

TEL: 075-321-9221

受付時間: 午前9時半~午後5時 (土日を除く)

※先着順とし、定員に達した場合は締め切りとさせていただきます。
また、個人情報は本シンポジウムのみ使用いたします。